

令和7年12月定例会 市長提案説明

12月定例会の開催に当たりまして、所信の一端を申し上げますとともに、今議会に提案いたしました、議案の大要につきまして、ご説明申し上げます。

はじめに、

11月4日に「三井アウトレットパーク 岡崎」が盛大にグランドオープンを迎えることができました。

本施設は、日本初出店32店舗を含む全180店舗が集まる、愛知県初の本格的アウトレットモールです。さらに、広大な緑地広場を備えた公園型施設「オカザキマーケット」も誕生し、岡崎に新たなにぎわいと交流を生み出す拠点として大きな期待が寄せられています。

また、本市の観光PRコーナー「岡崎おでかけナビ」をはじめ、岡崎市産の石材を用いた看板や、木材を使用したベンチ・机など、随所に岡崎らしさを感じられる設えが施されています。

この事業は、私が前回の市長在任時に種をまいたものであり、地域をはじめとする多くの関係者の皆様のご協力によって、この度の開業を迎えることができました。改めて深く感謝を申し上げます。

本市といたしましても、このアウトレットモールを核としたまちづくりをさらに推進し、子どもたちが愛情と誇りを持てる「夢ある新しい岡崎」の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

なお、グランドオープン当日は、岡崎観光伝道師として岡崎のPRにご尽力いただいている佐野勇斗さんも駆けつけてくださり、華やかなテープカットとなりました。

岡崎に新たな賑わいと交流を生み出す拠点として期待しておりますので、末永く、多くのかたに愛される施設になることを願っています。

ご来場の皆様には、アウトレットを楽しんでいただくとともに、市内をめぐり、様々な岡崎の魅力にも触れていただくことを期待しております。

また、駐車場も3,800台分ありますが、近隣に本宿駅がありますので、ぜひ、市民の皆様には公共交通機関のご利用をあわせてお願いいたします。

地域経済の活性化と地消地産の推進を目的に、11月1日と2日の両日、乙川河川敷で、岡崎城下家康公秋まつり「2025商工フェア」及び「第52回農林業祭」を開催し、約2万9千人のかたに来場いただきました。

商工フェアでは、地域店舗ファンづくり推進事業に登録した市内の事業者「家康印」をはじめ、親善都市福山市やゆかりのまち茅ヶ崎市の出店による特産品の展示、販売が行われました。

そして、今年は、65周年を迎えた岡崎青年会議所に、ステージイベントを盛り上げていただくなど、多くのかたに本市や交流都市の魅力を感じていただきました。

農林業祭では、市内の農林水産物、食品に加え、ゆかりのまち佐久市、齋田ゆかりの地 綾川町、もり・まち・歴史共生都市 八女市の農林水産物の販売が行われ、とりわけ綾川町のブースでは町長自ら手作りのさぬきうどんを販売され、来場者との間で交流もしていただくなど、こちらも多くのかたに本市や交流都市の魅力を楽しんでいただく機会となりました。

今年度の農林業祭は、六ツ美北中学校から生徒市議会で提案のありました、マルシェの要素を取り入れた形式で開催し、ゆかりのまちの方はもちろん、本市の多くの農業者等の方と消費者との交流により、農林業への理解をより高めるイベントとなるよう取り組みました。

今後も関係者と連携しまして、本市産業の持つ魅力を放ち続けられるよう、努めてまいります。

また、10月3日に、本市の駒立ぶどう狩り街道が、愛知県の「食と花の街道」のうち「いいともあいち食の街道」の認定をいただきました。

駒立のぶどう狩りは、ぶどう狩りはもちろん、バーベキューや水遊び、アスレチックなどのアウトドアを1日楽しむことができる事が特徴です。街道の認定を機に、駒立ぶどう狩り街道を来年はさらに盛りあげてまいります。

そして、来週、12月8日に、本市と名古屋大学大学院生命農学研究科と

連携・協力協定を締結します。

本市と名古屋大学は、知的資源と社会的ネットワークを活用しまして、農林業を始めとする地域課題の解決や人材育成、学術研究の推進等に関して、相互に連携・協力し、地域社会の持続的発展とグローバル対応力の強化に寄与することを目的としたいと考えております。

続いて、スポーツの分野では、11月にFIA世界ラリー選手権ラリージャパン2025が開催され、9日の 額田SSと岡崎スーパーSSには、雨の中、多くの方に来場いただきました。

額田SSでは、自然の中を駆け抜ける色鮮やかなラリーカーに歓声があがり、目の前を一瞬で駆け抜けていくスピードに興奮がやまない会場となりました。

今回がラストランとなった岡崎スーパーSSは、昨年を上回る約1万人もの観客が訪れ、通常の予想をはるかに超える猛スピードで公園内を駆けめぐるモンスターマシンに魅了され、非日常を体感する会場となりました。

また、スーパーSS終了後の岡崎中央総合公園では、「おかざきクルマまつり」を開催しまして、同乗走行体験やラリーコースを使った駆けっこ競争など、お子さんも楽しめる催しや、市内事業者のキッチンカーの出店もあり、ラリーファン以外にも楽しめるイベントになりました。

今後もスポーツを通して地域の活性化、経済の活性化に取り組むとともに、この地域の基幹産業である自動車の魅力を発信してまいります。

10月18日に開催した“岡崎市民病院フェス”は、約2,500の方にご来場いただきまして、大変盛況でありました。

このイベントでは、手術支援ロボット・ダビンチの操作体験として、参加者が3D内視鏡画像を見ながらロボットアームを操作し、筆で文字を書いたり、双六をしたりのほか、子供の白衣試着体験や、看護師・薬剤師の仕事体験、認知症予防の脳トレや骨年齢の測定など、ご来場いただいた幅広い世代の方々に、普段の病院ではできない様々な体験をしていただきました。

また、医療スタッフとの交流を通して、市民病院をより身近に感じ、市民病院が提供する医療に対する理解や関心を高めていただくことに

つながったと思っております。

今後も、市民病院が地域の皆様に愛され、信頼され、期待される病院であり続けるよう努めてまいります。

岡崎市の中心に位置する甲山にそびえたち、地域のランドマークにもなっている六供配水場の配水塔と旧ポンプ室が、9月24日に、日本国内の歴史的な土木構造物の保存を目的に創立された公益社団法人土木学会の土木遺産に認定されました。

六供配水場は、岡崎市上水道発祥の地として、昭和8年の給水開始から92年間にわたり、市民生活および産業振興の源として水道水を供給し続けている現役の水道施設で、配水塔と旧ポンプ室は歴史ある建造物であるとともに、ロココ調の装飾性豊かなデザインが今も残されていることが評価されたものです。

今後も、水道施設の適正な維持管理と、安全・安心な水道水の安定供給に取り組んでまいります。

将来、施設の更新時期を迎えた折には、兼ねてから申し上げておりますが、ぜひ貴重な外観を残し、内部は市民美術館塔とレストランとして生まれ変わらせたいものと考えております。

本年度4月から開始したウイズ認証には、大変多くの市内事業者の申請をいただきまして、10月1日の認証式では、46事業者を認証することができました。

本制度は、各事業者の魅力を「見える化」し、働きやすい職場環境づくりへの意識向上、ひいては雇用の促進に資するものです。性別に関わらず、個性を活かし能力を発揮できる環境やワークライフバランスの推進など、本市は男女共同参画社会の実現に向けて、これからも積極的に取り組んでまいります。

昨日から、自動運転バスの実証運行がスタートしました。

3年目となる今年度は、本市と名鉄バス株式会社が連携しまして、

名鉄東岡崎駅停留所からJR岡崎駅停留所を結ぶ、本市の都市構造上の背骨とも言えます、通称「電車通り」の約3.5キロメートルの区間を、既存のバス路線と同一経路、同一停留所で運転手が同乗する条件の下での自動運転「レベル2」の技術を活用して運行いたします。

車両は、東海地方の市街地では初となる、いすゞ自動車株式会社製の大型バス「エルガ」に自動運転システムを搭載し、実運用に近い形での走行を行います。

本実証は、単に先進技術を導入するためのものではなく、限られた人材や資源を最大限に活かし、岡崎市全体の公共交通を、より効率的な姿へと再編していくための重要な一歩です。

運転士不足に対する解決策となり得る「自動運転バスの社会実装」に向けて、名鉄バス株式会社と連携を図ることで、将来に亘って、本市のバス路線の維持や充実を図ってまいります。

ぜひ、皆さまもこの機会に乗車いただき、自動運転バスを体感していただきたいと思っております。

実証運行は、12月20日までの間、火曜日を除く毎日、1日10便を予定しております。

北部地域活動拠点施設(仮称)岩津センターにつきましては、地域の皆様の意見を聴きながら、一緒に計画づくりを進めているところでありまして、本年度は、9月から10月にかけて3回のワークショップを開催いたしました。

ワークショップでは、昨年度に集約した5,562件のご意見も踏まえながら、地域の皆様が必要とされている施設の役割や機能について話し合ってくださいことで、地域のニーズがどこにあるのかを把握することができました。

今後につきましては、これらのニーズを踏まえた機能案を今年度中に作成し、次年度に策定を予定しております基本計画に反映してまいりたいと考えております。

次に、本議会に提案しております議案について、説明させていただきます。

まず、条例議案であります。

制定条例といたしましては、子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める「岡崎市特定乳児等通園支援事業の運営の基準に関する条例の制定」、児童福祉法の一部改正に伴い、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める「岡崎市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の制定」、農地中間管理機構が関連する愛知県の土地改良事業の実施に伴い、特別徴収金に係る規定を整備する「岡崎市農地中間管理機構関連土地改良事業に係る特別徴収金に関する条例」の3件を提案させていただきます。

次に、改正条例といたしましては、資材価格の高騰、賃金上昇等の社会経済情勢の変化に鑑み、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に係る予定価格の下限額を改める「岡崎市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」、林野火災予防の実効性を高めるため、林野火災注意報の発令について定める「岡崎市火災予防条例」など計8件で、合わせて11件を提案させていただきます。

次に、その他議案といたしましては、公の施設における指定管理の期間が満了する施設について、次の指定管理者を定める「公の施設に係る指定管理者の指定」が8件のほか、

阿知和地区工業団地造成事業の契約の変更を行う「特定事業の契約の変更」など、合わせて11件を提案させていただきます。

続きまして、補正予算議案ですが、一般会計の補正は、43億3,120万5千円の増額、特別会計は、7億256万7千円の増額、企業会計は、14億7,111万7千円の増額であります。

一般会計の主なものとしては、民生費は、障がい福祉サービス費、生活保護費支給事業費などが当初見込みを上回ることによる増額、国の基準単価の改定による、私立保育園等施設型給付費の増額、

衛生費は、岡崎市医師会が運営する夜間救急診療所において、受診者の減少による診療報酬の減収に伴う救急医療体制運営費補助金の増額、

土木費は、寄附金の活用により、交通事故の危険性が高い箇所には防護柵や道路反射鏡などを整備するため、交通安全施設整備事業費の増額、東岡崎駅周辺地区整備基金を積み増すための積立金の計上、

教育費は、国や県による中学校の35人学級の方針を受け、教室不足のおそれのある学校において、今年度中の教室改修工事が必要となったことによる中学校校舎等特別整備工事請負費の増額、補助金が不採択となったことによる旧西部学校給食センター解体工事請負費の減額、

そのほか、国家公務員の給与改定に準じた、職員給与の改定及び、人事異動に伴う職員の増減などによる職員給与費の補正を各款で計上しております。

次に、継続費の変更につきましては、
工事費の高騰に伴う東岡崎駅交通施設整備事業の総額及び年割額の変更、

繰越明許費の追加につきましては、地域脱炭素移行推進事業を始めとする事業につきまして、それぞれ年度内完了が見込まれないことから、繰越しをお願いしております。

債務負担行為につきましては、産官学連携プロジェクト研究に要する経費などにつきまして、それぞれ令和8年度当初予算に先立ち契約を早期に

進めるため、債務負担行為を追加するものであります。

最後に企業会計では、

病院事業会計で、職員給与費の増額のほか、当初の見込みを上回ったことによる薬品費・診療材料費の増額、

統合情報システム更新に要する経費につきまして、

令和8年度当初予算に先立ち契約を早期に進めるため、

債務負担行為を定めるものであります。

以上が、今議会に提案をいたしました議案の大要であります。

先月15日に、全4回の連続講座である「おかざきパパマイスター養成講座」の最終回を開催し、3回以上の講座を受講した男性20人を「おかざきパパマイスター」に認定しました。

本講座は、父親と母親がともに子育てを楽しむことができる環境づくりを目指すため、「男性の家事・育児参画を推進してパパを盛り上げる」ことを目的に開催しておりまして、今年度で第3期目となります。

第3期「おかざきパパマイスター」の有志の皆さんには、今月13日に開催する「おかざきこそだて会議2025」へのブース出展も予定していただいております。今後も、講座で得た学びやつながりを活かして、子育てイベントのサポート等、本市のパパを盛り上げていただくことを期待しています。

アジア・アジアパラ競技大会の開幕まで1年を切り、10月26日には岡崎中央総合公園総合体育館で1年前イベントが開催されました。

本市が競技会場となるアーチェリー、バレーボール、座位バレーボールに加え、空手やバスケットボールなどの競技体験があり、市民の皆様には、競技に興味をもつていただく良い機会になったと思います。

また、岡崎アスリートとして応援しています戸松大輔選手は、全日本アーチェリー連盟の2025ナショナルチームに選出されました。

アジア競技大会に日本代表として出場するためには、
上位3人の枠に残る必要があると聞いています。

ロンドンオリンピックでは本市出身選手が銅メダルを獲得したように、
今後も本市から優秀なアーチェリー選手が誕生するように引き続き皆様の
応援をお願いいたします。

また、世界トップのアーチェリー選手を輩出している
大韓民国 仁川広域市桂陽区との交流の促進も図ってまいります。

アーチェリーといえば「岡崎」と言われるよう、多くの市民にアーチェリーを
体験する機会を作ってまいります。

今年は、日本で女性の参政権が認められてから80年の節目の年であり、
10月には高市早苗氏が日本初の女性総理大臣に選出されました。

本市でも、女性の政治参画を推進する企画として、
「女性の市議会傍聴ツアー」を開催します。

明日12月2日に、申込いただいた17名の市民の皆さんに一般質問を
傍聴していただく予定です。

昨年より、徳川家康公の生誕月である12月を「家康公生誕月間」と
銘打ち、岡崎ならではの冬のイベントとして盛り上げを図っております。

今年も、12月6日から21日までの土日は、月間事業のメインイベントである
「おかざき宵まいり」を開催します。これまでの岡崎城公園と松應寺の間だけ
でなく、より広い範囲で楽しんでもいただけるよう、桜城橋や中央緑道にも光の
演出をしていきます。

期間中の土日は、歴史ファン向けの講演会「歴史ミーティング～おかざき
の陣～」や、若者を対象とした交流イベント「恋結びin宵まいり」、
子どもも大人も楽しめる「全国武将サミット2025」、
子どもの成長を願う「家康公生誕祭」などを開催しますので、幅広い世代に
お楽しみいただければと考えております。

そして、家康公の生誕日である26日には、「家康公生誕花火」を
乙川河川敷で打ち上げます。岡崎観光伝導師の「H△G(ハグ)」さんの

カウントダウンライブもありますので、楽しみにしててください。

以上、ご説明を申し上げますとともに、
提出をいたしております、諸議案につきまして、よろしくご審議の上、ご議決を
賜りますようお願い申し上げます、説明を終えさせていただきます。
ありがとうございました。